



SENRI KINRAN
UNIVERSITY

千里金蘭大学

学報

T565-0873 吹田市藤白台 5-25-1 TEL06-6872-0673 (代)

新学期を迎えて

千里金蘭大学学長
島崎 靖久



新入生の皆さん、在学生の皆さん、そして教員・職員の方皆さん、平成26年度の新学期を迎えました。花が咲き、新しい芽が出て、新しい出発に相応しい時であり、日本の季節に見合った節目ということが出来ます。今年は、卒業生が205名に対して入学生が222名と学生総数が17名増えて、908名となりました。昨年10月に学長に就任して、半年が経過しました。少しずつではありますが、教育の向上を目指しております。今年の入学式でお話しましたように、本学は入学は比較的小易しいですが、卒業は難しい大学へと変わります。今年、8回目の卒業式を行いました。8回目は入学式と同様に、定まる時期ではないかと思われ、大学の評価は卒業生の力量そのものであります。卒業生から得られた評価が、本学入学への判断基準となるはずであり、どのような卒業生を世に送り出すことが出来るかが大きな課題であります。卒業生の学力を高めることを目標にして参ります。その方法は、いくつかあると思われ、①成績評価の基準を定め、この向上、②大学院進学希望者への支援、③教育環境の整備等が挙げられます。成績評価の基準については、これまで各担当教員に全面的に任されていましたが、これを学科としての評価とすることにしました。勿論、担当教員の評価が基本ではありますが、最終的には学科として、進級、卒業に値する学力が備わったか、また、どの程度の学力を備えたかの判定を行う事としました。従って、その判断の責任者は学科長となります。大学院への希望者には大学院へ進むための講義を開講いたします。また、勉学に勤しみやすい環境の整備を少しずつではありますが、行っております。図書館の整備と土曜日開館を始めました。更に、自主的に勉学しやすい環境づくりを行って参ります。これからの日本の大学の在り様は変化すると考えられます。大学生の学力が一層向上していくはずで、本学も、少しでも先んじて行こうと思えます。全学を挙げてのご協力をお願い申し上げます。

本年度第1回オープンキャンパス!

5月6日(月)は振替休日ですが本学は通常授業日、この機会を利用して高校生に大学の授業を見学していただきます。個別相談会や、在学生による普段の金蘭の話などもあります。

可愛い後輩たち、どうぞあたたかく迎えてあげてください。

オープンキャンパスの今後のスケジュールは、こちらをご覧ください。

<http://www.kinran.ac.jp/cheer/opencampus/>

日々のキャンパス

この学報は、教職員・学生の情報共有を目的として、年4回のペースで発行します。
キャンパスの普段の出来事をお伝えする「日々のキャンパス」、
今回は卒業式と入学式の模様をお伝えします。

3月18日(火)

平成25年度卒業式



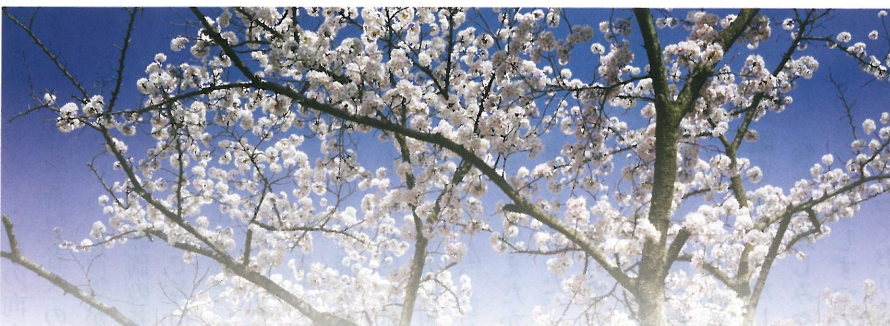
平成25年度の卒業生は、食物栄養学科74名、児童学科38名、看護学科93名の計205名。島崎学長から、各学科総代に学位記が授与されました。続いて「特別賞の授与」、これは学業、品行ともに優れた学生に対して「商議

員賞」を、学業も含めスポーツや社会貢献にすぐれた活動をした学生「佐藤賞」を与えるものです。今年度「商議員賞」を授与されたのは、生活科学部食物栄養学科・板井真紗美さん、生活科学部児童学科・谷本美沙さん、看護学部看護学科・桂穂乃さん。「佐藤賞」を授与されたのは、生活科学部食物栄養学科・堀池理恵さん、生活科学部児童学科・西山奈美さん、看護学部看護学科・田所三幸さん。

最後に、児童学科・新城絵梨さんの司会で「誓いの言葉」が述べられました。卒業生を代表して「誓いの言葉」を述べたのは、食物栄養学科・三井智代さん、児童学科・難波咲子さん、看護学科・岡本光さん。それぞれに学生生活を支えてくれた方々への感謝と今後の抱負を述べ、会場全体の拍手の中で卒業生が退出し、卒業式は無事終了しました。

4月2日(水)

平成26年度入学式



平成26年度入学式は、好天と満開の桜が新入生を迎えてくれました。今年度の入学生は食物栄養学科84名、児童学科50名、看護学科88名の計222名。入学式では学科長が全員の名前を呼び上げ、代表が登壇して学長から「入学許可宣言」を受け、その後

「宣誓書」を読み上げます。各学科の代表は、食物栄養学科・楠真緒さん、児童学科・吉岡佑梨さん、看護学科・今井詩萌さん。緊張の中でありながら、堂々と宣誓をしてくれました。
例年であれば、この後に学科行事で解散となりますが、今年度は昼食を挟んで午後は「生活オリエンテーション」を実施。新入生にとっ



では大変長い一日、みなさんお疲れ様でした。

部 局 便 り

本学には教育・研究のための学部・学科以外に、
学生の学びをサポートし地域社会と連携するためのいくつかの部局があります。
図書館長・センター長からのメッセージを紹介します。

附属図書館長

國井 哲義

新入生諸君、入学おめでとう。
期待に胸を膨らませていること
だろうが、初めてのことで戸惑う
ことも多いと思う。さて、どうし
たらよいかわからなくなつたと
き、ぜひ図書館の利用をお勧め
する。

まず図書館には、当たり前前の
ことだがたくさんの本がある。こ
この図書館にはどれくらいある
か。何と20万冊以上もある。と
てつもない数で想像を絶するだ
ろう。すべて人類の知的活動の所
産だ。諸君のどのような疑問に
も答えてくれるはずだ。

入り口は2階だ。本学の図書
館は本を読むだけの場所ではな
い。入り口を入ってすぐ右側にラ
ーニングコモンズのスペースがあ
る。そこにはデスクトップ型のコン
ピュータ、ノートパソコン、タブレッ
ト端末が常設されていて、カウン
ターで手続きすればいつでも利
用できる。資料の検索や印刷も
可能だ。レポート作成や資料収
集に幅広く利用されている。新
入生諸君も存分に利用してほし
い。

2階の奥にはアクティブライニ

ングのスペースがある。無線
LANの設備があり、ノートパソ
コンやタブレット端末に接続して
インターネットを利用することが
できる。そこには図書館所有の
VTRなども置いてあつて、自由
に視聴できるようにしている。

各階の閲覧室も充実してい
る。2階には仕切りのある個人
用の机などもあつて、だれにも邪
魔されず勉強できる。3階、4階
にもたくさんのテーブルと椅子
が設置してあり、大人数にも対
応できるようにしている。

本好きの人間なら、1日中図
書館で過ごすことも可能だ。た
だし館内での飲食は控えてほし
い。騒いだりして他人に迷惑をか
けることもダメだ。守るべき規則
はそれだけだ。

大学に来たら、少なくとも日
に1回は図書館に立ち寄る習慣
を身につけるといい。平日の開館
は9時から19時10分だ。土曜日
も開館(10:00~16:00)してい
る。家に適当な学習環境のない
学生にはうつつつけの場所だ。図
書館は諸君の来館を心から待つ
ている。

生涯学習センター長

生形 貴重

大学は学生だけのものではあ
りません。地域社会に貢献する
のが大学の役目でもあり、生涯
学習センターは市民の方へ学びの
機会を提供しています。

春と秋に多彩なメニューの公開
講座を開き、吹田市・箕面市
との協定に基づいた市民大学も
開催しています。地域の公民館
へ出向き、出前講義をすること
もあります。

人生の先輩方の学びへの意欲
は、学生の皆さんにとっても大
変刺激になると思います。学内
で受講生に出会うことがあれ
ば、敬意と節度を持って接して
くださいね。

国際交流センター長

岩谷 智

学生時代にぜひ体験していた
だきたいもの、その一つが実際に
異文化を体験し交流すること。
国際交流センターでは、異文化
体験・理解のための多様な機会
を準備しています。

夏期ヨーロッパ研修(全学

全年対象)・「異文化理解演
習(海外)」(教養教育後期選
択科目受講者対象)・夏期英国
前田学園研修(児童学科・2
年生以上対象)・夏期韓国研修
(全学部・全学年対象)・(長期)
正規認定留学(全学部・全学
年対象)・(短期・長期)私費
留学(全学部・全学年対象)・
韓国提携校日本語日本文化研
修サポート(全学部・全学年対
象)など。

随時学内で説明会を開催し
ますが、興味関心をお持ちの方、
ぜひ国際交流センターをおたず
ねください。

地域共創センター長

寺口 瑞生

地域共創センターは、図書館
事務室内にあつて、本学と地域
社会の交流・連携の窓口となっ
ています。履修証明プログラムの
提供、大学学報の発行、自治
体との連携会議などが主な業務
となっています。地域からのボラ
ンティア募集などの案内もしてい
ますので、図書館へ来たときな
ど、気軽に立ち寄りください。



各学科長からの歓迎メッセージ

本学は2学部3学科の小さな大学ですが、
それ故に卒業までの4年間をきめ細かく指導することができます。
3学科の学科長からメッセージをいただきました。

食物栄養学科長 實寶 智子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

食物栄養学科では、食と健康の専門職である管理栄養士の育成を目指しています。この管理栄養士という資格は厚生労働大臣からの免許であり、国家試験の合格者に対して与えられるものです。その仕事の内容は病院、学校、事業所、福祉施設、給食会社などで栄養指導を行なう、あるいは食品会社で開発を行なう、といったもので多岐にわたります。一方、これらの仕事をするためには、人体のしくみや、病気のこと、食べ物のことを始めとして、栄養学のさまざまな知識を身につけることが必要です。どうかこの4年間、しっかりと勉強して将来やりたい夢をかなえていけるようにがんばってください。

また、この4年間は勉強に加えていろいろなことを吸収できる時期でもあります。クラブ活動やさまざまな社会活動を通じて経験を積み、また友人もたくさんつくって、有意義な大学生活を送ってください。期待しています。

児童学科長 中島 保子

桜満開の4月2日、あなた方は入学してこられました。まずは「おめでとうございます！」

大学生活に、とても大きな期待を寄せるとともに、それと同じくらい不安な気持ちもあるのではありませんか？大丈夫です。本学は、目の届きやすい大きさの大学であり、よき先輩、面倒見のよい先生やスタッフがそろってあなたたちを見守っています。安心してください。

私たちは、あなた方が社会に役立つ、とりわけ、子どもたちにとつてすばらしい味方であり、子どもたちを守り、導く、「子ども支援のスペシャリスト」に育っていくことを願って厳しく指導します。

高校までの生活とは違い、大学では自由が多いですがその分、自分の責任は大きいです。つまり自立が求められているのです。大学生になった今、まず、身近な自立として「時間に遅れるな」です。「挨拶を含めていつでも品のある人になろうとする努力」を、また「何かに精一杯がられる自分になろう」としてくだ

さい。そんな皆さんの姿はきっと輝いていて誰の目にも魅力的に見えるでしょう。何より、皆さんの大学生活が楽しく実りあるものになるとと思います。

看護学科長

竹村 節子

新入生のみな様、ご入学おめでとうございます。

看護職を将来の仕事にと考えて看護学部を選んでくださったと思っております。私自身は看護師（当時は看護婦の名称）になることを強く望んでいたとはいえませんでした。しかし、縁あり医学・看護学を学ぶにつれ人間の体の仕組みの不思議さに興味が増し、勉学に励みました（親からの仕送りのため遊ぶお金が少なかったことも一因。しかし神戸は山あり海ありでお金がなくとも十分楽しめました）。

看護師として働き出したころの経験が少ない私でも、看護師と認めてくださる瞬間を感じる事ができ、それが励みになりました。少しずつ成長できたのだと思います。「人が好き」「人の役に立ちたい」と強く思う心があれば看護職は最適な職業だと確信し

ます。しかし「生命」を預かるにはそれなりの責務が伴います。ある人の「生活も含めたいのち」と関わるためには看護師も真剣に向き合わなければならぬところに仕事の厳しさがあります。これらを含めやりがいのある仕事になるのだと思います。どうぞみな様将来の看護師像を目指し充実した4年間をお過ごしください。



編集後記

桜の頃はまだまだ「生徒」気分だった新生、連休の明けた5月には「学生」としての生活リズムを確立してください。次の学報は、7月発行予定です(て)。

千里金蘭大学 学報 (第6号)

発行 2014(平成26)年4月25日(金)
〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-25-1
千里金蘭大学学報編集委員会
Tel 06-6872-0673(代)

大学Web <http://www.kinran.ac.jp/>
携帯サイト <http://www.kinran.ac.jp/mb/>
公式Twitter <https://twitter.com/SenriKinranUniv>
受験生応援サイト <http://www.kinran.ac.jp/cheer/>
受験生応援ブログ <http://www.kinran.ac.jp/cheer/blog/>